

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.4.25 第 169 回国会第 17 号

4 月 25 日、第 17 回の委員会が開かれました。

1 金融商品取引法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 59 号）

- ・渡辺国務大臣（金融担当大臣）から提案理由の説明を聴取しました。
- ・渡辺国務大臣（金融担当大臣）及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

広津素子君（自民）

- ・いわゆるプロ向け市場の情報開示について、一般投資家向けとの差異を設けた理由は何か。
- ・ファイアーウォール規制の見直しに当たり、グループ会社間の顧客情報の管理等、内部管理体制整備の在り方についてどのように考えるか。
- ・銀行兄弟会社の商品現物取引解禁に伴い、市場への投機資金の流入が予想されるが、これについて何らかの規制をするつもりはないか。

鈴木馨祐君（自民）

- ・我が国市場への投資を阻害している要因は何か。
- ・プロ向け市場の監督の在り方として、一般向けよりも柔軟な運営を認めることに伴うメリットとデメリットのバランスをどう取っていくか。
- ・ベター・レギュレーションに関する金融庁の取組の概要について伺いたい。

大口善徳君（公明）

- ・我が国市場の現状について大臣はどのような認識を持っているか。その上で、金融・資本市場競争力強化プランをどのように推進していくつもりか。
- ・インサイダー取引事件が発生した金融機関等に対する監督の在り方について、罰則や課徴金制度の強化を含めどのように考えるか。
- ・金融機関におけるコンプライアンスの向上の観点から、金融専門人材育成の必要性についてどう考えるか。

佐々木憲昭君（共産）

- ・インサイダー取引などの事件が増加しているが、再発防止のために原因究明を行う必要があるのではないか。
- ・証券会社における証券市場の信頼を損なわないための社内管理体制の在り方についてどう考えるか。
- ・重大事実を知りうる社外関係者によるインサイダー取引への対応策について、金融担当大臣はどのように考えているのか。

鈴木克昌君（民主）

- ・本改正案で、銀行による排出量取引を解禁することとした背景と趣旨について伺いたい。
- ・京都メカニズムを活用したクレジットの取得については、どのくらいの取得量と費用を見込んでいるのか。また、それらは京都議定書の温室効果ガス削減目標の達成にどの程度寄与するのか。
- ・EUを始めとする先進国における、国内排出量取引制度の導入状況はどのようになっているのか。また、我が国においては、導入に向けてどのような検討がなされているのか。

小沢鋭仁君（民主）

- ・野村証券元社員によるインサイダー取引が発覚した経緯を説明してほしい。また、不正行為に対する当局の監視体制はどのようになっているのか。
- ・外資系金融グループと国内金融グループに投資銀行業務を行う上での法令上の差異はあるか。また、国内金融グループが投資銀行業務に消極的な理由は何か。
- ・金融・資本市場競争力強化プランでは、金融サービスを経済の中核に位置付けるとの意図が含まれているのか。